

**初のオンライン大会
無事に成功 (2面)
国会議員の賛同続々!
現場の声伝える (3面)**

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<https://www.zenkouro.org/>

**4年ぶり、新委員長が誕生
広厚労・岩本一宏さん**



あいさつは
苦手じゃけえ

年末一時金 前年水準の確保へ!

**11月20日現在、
愛知2.0ヶ月
秋田2.0ヶ月
長野2.0ヶ月
熊谷も前年同率**

減らさないぞの 声を届けよう!

第68回定期大会にて、中央執行委員長に信任されました広島の岩本と申します。よろしくお願ひします。

現場の医療 労働者として

少し自己紹介させていただきます。まず、私は広島県の尾道総合病院で放射線技師をしており、今も、毎日25名前後の患者さん

に放射線治療を行っています。そして、専従ではなく医療従事者として働ながら委員長の任務を背負うのは、山口の竹田明夫さん(2003~06年)以来だと記憶しています。しかしながらその時と違い、今回は日本医労連の役員を長野の花澤副委員長が引き受けてくださり、なんと全厚労委員長の重責を担うことができそうです。

明るい未来が見えるように

私自身は、非常に優秀な歴代委員長とは違い情勢や知識には疎いですが、その分医療現場に近いですし、労働環境改善に対する情熱は負けないつもりです。それがありません。

このような状況だからこそ、全厚労だからできること、また全厚労にしかできないことに集中して取り組み、ポストコロナに向けて、しっかりと力をため

昨日よりも今日。今日よりも明日が良くなるために

11月20日現在、全厚労加盟組織では、熊谷総合病院で、11月5日に前年同率一時金の回答がなされた他、秋田、長野、愛知では、要求通り2・0ヶ月の支給が確認されています。

愛知では、13日に労使懇談会を開催、コロナ禍での患者減少があったものの、

緊急支援交付金により、年末一時金の資金確保が出来たことで、2・0ヶ月支給の目処が立ったことが報告されました(3面関連)。

また16日、団交を行った秋田では、交付金は思ったほど出ていないものの、会社として「職員の生活水準は落としたいくない」と、要求

通りの2・0ヶ月回答が出されました。しかし一方で、次年度以降は厳しくなってくる旨の話もされ、秋厚労からは現行の賃金・手当見込みで21年度事業計画を立て

てることや、離職防止やS T等の人材確保などに努めるよう要請しました。

18日には長野の経営協議会でも2・0ヶ月回答が出されました。

12月20日(日) 11:00~12:00 医療研第4分科会オンラインセミナー

こんにちは、医療研運営委員会です。昨年開催した第36回医療研究集会in潮来での第4分科会「厚生連病院の果たすべき役割～厚生連流食文化を考える～」を1時間でコンパクトに体験できるセミナーをZOOM(オンライン)で開催します。医療研未経験・初参加の方でも気軽にご参加ください。参加費無料、申し込みは各県本部へお願いします。運営委員一同お待ちしております。



「コロナ禍での労働条件の改善許さない」

全厚労第68回定期大会

11月6日、全厚労は第68回定期大会をオンラインで開催しました。コロナ禍で様々な制限がある中で24名)と、全厚労役員、大会役員を合わせ87名が参加しました。

1号(総括・方針)議案討論では事前文書発言21本のうち9県、3専門部の当日発言がありました。質疑応答では、長野の代議員2名から「労働者供給事業がどういものか、また執行委員会や県連での議論経過、全厚労がこの事業で何をし

ようとしているのか」との質問が出されました。松尾書記長は「労働組合が組合員を無料で勤務先を斡旋し、働いてもらうようにするのが供給事業。都市集中型社会から地域に人が集まるようにするには、生

活インフラとしての医療を充実させる必要がある。全厚労が窓口となり労働者の厚生連病院に働き手の流れをつくる運動として、最終的には認可事業を目指して夏の段階から議論してきた」と説明、まとめ答弁では慎重意見も踏まえ、「3

年の期限は区切らず、まずは厚生連病院の広報活動から始め、慎重に研究・検討していきたい」としました。1号議案は賛成多数(保留6票)、2号(予算)議案は満場一致で承認されました。

今大会は初のオンライン開催であったため進行スケジュールの超過などありましたが、参加された皆様の協力のおかげで無事閉会となりました。今後も全厚労加盟組織一致団結し、運動を進めていきたいと思います。



オンラインでも全国の気持ちは一つ (写真上・長野下伊那、写真下・広島尾道)

畑中剛喜中央執行委員長・退任のあいさつ



4年前、大県連からの中央執行委員長となり手のない中で就任しました。全厚労の財政ひっ迫などの問題もありましたが、

全厚連、文化連、農水省、きたことが私の役割だったと感じています。今日から新たに全厚労への一層の団結をお願いするとともに、4年間支えていただいた皆様に感謝申し上げます。厳しい情勢は続きますが、明るい未来をつくるために今後とも共に頑張っていきたいと思います。

事前文書発言	
北海道	19年度活動と20年度の方針
秋田	19年度の運動の特徴
福島	ハラスメント裁判と防止対策、19年度の取り組み
新潟	組織問題
富山	富山県厚生連の現状と19秋闘、20春闘
長野	給与制度改定提案と高齢者雇用制度
茨城	地域医療を守り、労働条件を発展させる組合運動
神奈川	残業・休日労働の点検活動
静岡	19年度活動と20年度の方針
愛知	19年度活動総括
岐阜	新型コロナウイルスの猛威
三重	夜勤専従の覚書締結と看護師の新たな二交替勤務時間
広島	19年度活動報告と今後について
香川	19年度の取り組みや今後の重点課題
徳島	19年度の取り組み
高知	19年度活動報告
大分	19秋闘と20春闘
女性委員会	19年度の活動と取り組み
青年委員会	19年度の活動
医療研運営委員会	19年度の活動と取り組み
看護委員会	19年度の取り組みと今後の課題
当日発言(発言順)	
岐阜・田口代議員	新型コロナの脅威下での取り組み 市立病院と東濃厚生連の統合
長野・小林代議員	給与制度改定と高齢者雇用制度について
高知・堀野代議員	賃金制度の改善提案とのたたかい
愛知・杉山代議員	愛知の経営状況と完全週休2日などの働き方改革
広島・田邊代議員	広厚労で秋闘・春闘の成果と今後の活動について
徳島・大栗代議員	感染症特別休暇と一時金確保のたたかい
茨城・藤田代議員	コロナ禍で地域医療守り、労働条件発展させる労組活動
福島・佐々木代議員	パワハラ裁判・ハラスメント防止対策
新潟・樋口代議員	組織問題について
女性・湯川委員	母性保護月間の取り組みと今後の予定
青年・堀野代議員	19年度の青年委員会活動とK's 三重に向けて
医療研・高木委員	医療研究集会在in潮来とコロナ後の取り組みについて

大会役員

- 議長 岡田 龍哉(長野)
- 議事運営委員会 樋口 和成(新潟) 吉井 京湖(茨城) 荒川 博昭(愛知) 黒澤 太郎(香川) 岡野 学(中執)
- 選挙管理委員会 島 輝義(秋田) 安本 真理子(茨城) 岡野 元保(三重) 井上 奈月(徳島)
- 大会事務局 大会書記 藤井 有子(三重) 矢山 由起子(広島)

次期選挙管理委員

- 三北・富山 関信・長野 東海・愛知 西日本・徳島
- ★印は委員長

2020年度 全厚労役員

- 中央執行委員長 岩本 一宏(広島・新)
- 中央副執行委員長 中村 悟(秋田・再)
- 書記長 松尾 晃(本部・再)
- 書記次長 岡野 学(本部・再)
- 中央執行委員 下保 誠史(北海道・再) 齋藤 文子(福島・再) 和山 祐輔(新潟・再) 高橋 浩一(富山・再) 宇留野 正志(茨城・再) 阿部 恵美(熊谷・再) 望月 有美(静岡・新) 荒川 博昭(愛知・新)
- 中央執行委員 小掠 瑞樹(三重・元) 高本 奉彦(広島・再) 松田 純一(山口・再) 川田 祐生(香川・再) 島山 宗(徳島・再) 由比 智一(高知・再) 中野 綾(大分・再)
- 会計監査 大崎 泰信(富山・新) 関原 宏幸(長野・新) 浅野 彰大(愛知・新)
- 中央執行委員長 畑中 剛喜(三重)
- 中央副執行委員長 辻 英晶(愛知)
- 中央執行委員 三浦 拓也(秋田) 高島 美幸(静岡) 平田 篤史(岐阜) 小口 仁志(三重)
- 会計監査 大平 雅浩(新潟) 幸恵(高知)

大会へのメッセージを頂いた組織

- 全国組合 全医労 全日赤 全JCHO労組 全労災 国共病組
- 医労連・県医労連 日本医労連 北海道 宮城 山形 福島 福井 群馬 埼玉 東京 新潟 石川 滋賀 京都 大阪 奈良 岡山 広島 福岡
- 友誼組合・団体 全労連 日本医療総合研究所 全国保団連 民放労連 国公労連 非核の政府を求める会 建交労 労働者教育協会 鹿児島県農協労組 日本原水協 全国革新懇 航空労組連絡会 全農協労連 国民救援会 農民連 全国食健連 全教 (順不同)

Q&Aで学ぶ労働基準法 第2回

勝手に年休が入っている！

Q. 請求していないのに勤務表に年次有給休暇が入っています。5日取得が義務づけられたので、しようがないのでしょうか？

A. 年次有給休暇を使用者が一方的に指定することはできません（労働基準法第39条5項）。年次有給休暇の5日取得義務については、すでに5日以上請求・取得している労働者に対しては、使用者による時季指定をする必要はなく、また、することもできません。（労働基準法第39条8項）

2019年4月から「働き方改革法」の施行で、年5日の年休を労働者に取得させることが使用者の義務となりました（労働基準法第39条7項）。取得義務化の対象者は、法定の年次有給休暇付与日数が10日以上全ての労働者になります。労働者ごとに、年次

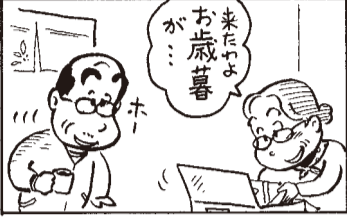
年次有給休暇は、労働者の「心身のリフレッシュを図ること」を目的としています。まずは自分の取りたい時季に取得していきましよう。勤務調整が難しい時は、職場で休暇取得計画（カレンダー）の作成を提案し、促進していきましょう。

年次有給休暇の取得についての詳細は、QRコードを読み取って、全厚労HPを参照してみてください。



言いたい劇場

小菅りや子



国の支援金遅れが賃金へ影響

日本医労連・国会議員要請行動



意思統一集会での基調報告

11月10～11日、コミ1名の計127名が国会議員会館に集まりました。10日の意思統一集会では、森田しのぶ執行委員長のあいさつ後、森田進書記長が基調報告。現状では医労連加盟組織の8割で年末一時金の減額回答が予想されることについて、11月6日の予算委員会での第二次補正予算の包括支援金3兆円に對して、未だに10分の1の3千億円程度の執行となっていることが判明したと指摘。県・自治体からの支援金が遅れていて、病院の手持ちの現金がなくなり、結

果人件費に手を付ける要因になっている。政府へ迅速な対応を求めていくことが喫緊の課題となりました。地域医療構想では、厚労省のワーキンググループで先延ばしされている「再検証期限」について具体化の意見も出されたが、様々な団体から慎重論が出たこと、さらに、10月29日の「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」では、思い切ったスケジュールの見直しや構想そのものの再考などの意見がでたことを報告。その上で感染症対策が盛り込まれていない構想の見直しと撤回を再度強調しました。

集会に参加した多くの国会議員が医労連のこの間の取組みや、いのち署名への賛同を表明しました。衆議院議員で医師の吉田統彦氏（立憲）は、「今後2年間消費税をゼロにしたい、そうすることで病院の控除対象外消費税がゼロになる。その原資で賃金・一時金や労働条件の改善につなげる」とができる」と、消費税減税の重要性を訴えました。この日の要請行動で新たに10名の紹介議員を獲得し、その後追加の要請等で18日現在82名の賛同となりました。今後も多くのいのち署名と紹介・賛同議員を集めていきましょう。2日目の政府交渉については以下のQRコードで紹介いたします。



愛知 地域医療守るためにも 労組からも積極的提言

愛知では2018年度から新経営制度（県内8病院の個々の経営管理を徹底するとともに全体管理を強化した総合性にて経営安定化を図る）を開始し、同時に3年間の中期計画が策定されました。18、19年度は病院個々の経営状況に差はありましたが、愛知県厚生連全体では順調に推移してきました。そのため、20年春闘では、①19年度年度末賞与の最大限の支給、②20年

度の定期昇給の実施、③20年度の年間4・0ヶ月の一時金支給の確約を求め、会からは満額回答を獲得、妥結に至りました。

また20年4月より、第1・3土曜日の午前診療を止め、完全週休2日制に移行し、現在評価を行っているところ。さらに、国の「働き方改革」への対応（超勤管理や年休の取得状況）や看護・介護職の夜勤協定の遵守に向けても、継続協議し

ていきたいと思っています。11月13日には秋の労使懇談会を会15名、労組20名で行いました。会からは「コロナ禍が続いているが、政府の助成金等もあり、年末一時金支給に必要な資金は確保した。患者数は減っており、今後も厳しい対応が迫られるが、救急患者の受け入れ強化等で持ち直してきている」との発言があり、労組としても収入確保策やweb会議等による経費削減などの提案や取り組みをお願いしました。

愛厚労は、現在の医療情勢、経営状況の変化を理解し、必要に応じて変化していくことが組織として重要であると考え、よりよい病院づくりのために、労働組合の立場に立って提言します。厚生連の使命である、地域医療を守ることを念頭におき、この1年活動していきます。



労使懇談会に参加する愛厚労役員ら

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第158回は長野と香川にお願いしました。

長厚労から下伊那厚生病院支部の小笠原巧人さんを紹介します。

彼は臨床工学技士で医療安全管理者も兼務しているなか、今年度より支部の書記長を務めてくれています。彼は音楽好きで、約7万曲以上の音楽を所持しています。

組合の会議へ行くのに支部からJA長野県ビルまで車で片道2時間かかります。道中は支部の執行委員長とテーマ(winter song、カバー曲等)を決め、好きな音楽をお互いに紹介しながら楽しんでいるようです。

大変な仕事も楽しくポジティブにこなす彼に今後も期待しています。



長野 小笠原巧人さん

営業マンのように見えますが、経営協議会へ向かう車内での1枚です！



香川 田中優二さん

香川県の屋島総合病院手術室で勤務し、全厚労看護委員をやらせていただいています。

看護委員をするまでは、組合活動のことをよく知らず、積極的に係ることがありませんでしたが、先輩看護師の誘いもあり、組合活動に積極的に参加し、組合活動の大切さ、ありがたさを知ることが出来ました。

前の自分と同じように、組合活動に馴染みがない人たちに、組合の必要性や大切さを伝え興味を持ってもらえるように引き続き頑張ってきたと思います。

当選者は3・7倍(クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選)でした。

- ヨコのカギ
- 1 サンタクロースのソリを引きます
- 4 冬至の日のお風呂
- 7 人間万事塞翁が……
- 8 正月用品などを売る市
- 10 自分の家です
- 12 那須与一は……の名人
- 13 手品よりは大がかりかな？
- 15 食……旺盛。……張り
- 16 利己主義。……イスト
- 17 余暇。……ランド
- 19 ノックをして入ります
- 20 就寝中のクセ
- 22 奈良の大仏があるお寺
- 25 似た者同士。……は友を呼ぶ
- 26 集まり。映画の……
- 27 串に刺して焼いた鶏肉

ザ★クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

- タテのカギ
- 1 昼が最も短い口
- 2 早口言葉「ナナムギナマゴメ……」
- 3 釣り……クモの……
- 4 湯茶をのむ器
- 5 中国王朝の一つです
- 6 皮膚などがくっついてしまうこと
- 7 お祝いの言葉
- 8 買わなければ当たらない宝……
- 9 配偶者のこと
- 10 牛乳+乳酸菌の食品
- 11 サンタさんの出入り口？
- 12 家の最上部にあります
- 13 建物の基礎
- 14 片付け……整頓
- 15 無用の長物……の太木
- 16 ……の道はへび

読者の声

全国の活動状況がよくわかる内容でした。特に香川県の活動内容は、ユニークでよいと思います。(香川)

患者さんには多大なご迷惑をおかけし、ほんとは申し訳ない気持ちでいっぱいですが、コロナの終息を願うばかりですね。(S.N)

「医療は人、人に投資して欲しい」に、惹かれ新聞を読みました。経営難であるがスタッフの働き看護援助を行い、報酬を得る組織であれば経営難であっても、報酬を拒むことは良くないと思う。これからは活躍をお願いします。(岐阜)

人件費に手を付け、難を乗り切るの簡単なことでは。経営者の資質が問われています。一時金減額とならないよう、させないように、一緒に頑張っていきたいと思います!!(OK)

読者の声 大募集!!

12月20日発行予定の新年号(12月・1月合併号)に向け読者の声を大募集します。通常号より多く掲載予定で、掲載された方には図書(クオ)カードを差し上げます☆ 普段クロスワードだけの投稿の方もこの機会にぜひ「読者の声」を投稿ください。

聞かせて・教えて!のコーナー

☆9月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 9月号で一番興味があった面は？
1面が29票、次いで2面が7票でした。教宣部に届いた読者の声にも1面の反響は多く、どの県にとっても重要な教訓になったのではないのでしょうか。

質問2 年末年始に食べたいものは？
「おせち料理」と「お雑煮」がともに13票で2トップ!!おせち料理は地域によって特徴がありますよね。全厚労加盟19県のおせち料理をいくつか食べてみたいですね☆

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

- 質問1 11月号で一番興味があった面は？
A=1面 B=2面 C=3面 D=4面
- 質問2 春闘で頑張りたいことは？
A=ベア B=各種手当増 C=夜勤改善 D=労働時間管理

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

全厚労HPはこちら!

読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。質問1・2は、聞かせて・教えてのコーナー掲載号で使用します。

教宣部の つぶやき

小柴昌俊さんが亡くなった。小学生の頃、クオークが流行り、素粒子研究を志した事もある者としても残念でならない。先生は「トトリ」の存在を約130億円の国費を使った「スーパーカミオカンデ」による実験で証明した。本人曰く「何の役にも立たない」発

見たが、人類がさらなる知を求めて夢を思い描くことは大切な。だが今の日本は科学を尊重せず、むしろ軍事技術に科学を従属させようとしている。破壊力がない兵器よりも、夢の創造に力を与えて欲しい。(MT)